

家族連れでにぎわう

とうもろこし大収穫祭

邑久町下笠加のトウモロコシ畑で7月22・23日の両日、夏恒例のとうもろこし大収穫祭が開催されました。

農業への関心を深めてもらおうと農事組合法人「ネオ・アシスタント淳風」が企画し、今年で8回目。10本500円と格安で収穫できるとあって、1.6ヘクタールに約8万本植えられたトウモロコシ畑には、朝から続々と家族連れが来場。実のぎつしり詰まったトウモロコシをもぎ取り、収穫の喜びを味わっていました。

収穫体験に訪れた大倉崇史君（10歳・邑久町尾張）は「引きちぎるところが難しかった。湯がいて、よく味わいながら食べたい」とうれしそうに話していました。

大きいトウモロコシが取れたよー



子どもたちは、お母さんのひざに乗り、大はしゃぎ

温かい心を伝える

親子でわらべうたを楽しむ会

ゆめトピア長船で7月25日、親子でわらべうたを楽しむ会が開催されました。参加したのは、長船町おやこクラブの皆さん（会員43人）。この日は夏休みということもあり、クラブ員のお兄ちゃん、お姉ちゃんも参加し、約40人がわらべうたを楽しみました。子どもたちは、重なりあいながらお母さんのひざ

に乗り、わらべうたを歌います。「わらべうたは、母国語の離乳食。子どもたちに温かい心を伝えましょう」と話す岡山わらべうたの会の脇本幸子先生。昔から伝わるわらべうたで、親子で一緒に遊ぶ皆さんは、始終笑顔がふれ、温かい時間を過ごしていました。

暑い夏、プールで遊ぼう

ちびっこプール招待券プレゼント

福田保育園（北谷優恵園長・園児154人）

代表取締役の立岡脩二市長から園児代表に、「楽しい夏の思い出を作ってください」とのメッセージとともに、園児154人分の招待券が手渡されました。

7月15日、黒井山グリーンパークのちびっこプール招待券が、園児にプレゼントされました。管理・運営している（有）曙の里おくが、子どもたちにもちびっこプールで楽しんでもらいたいと行ったもので、

なお、この招待券は、市内19の全幼稚園・保育園の全園児1、250人に贈られました。



「ありがとう」と代表の園児が招待券を受け取りました

いつまでもお元気で

平田末さんが満100歳に

7月25日に平田末さん（長船町土師）が100歳を迎えました。

和気町の娘さんの家で7月17日、お祝い会が開かれ、柏葉俊二備前県民局健康福祉課長や岡崎文明市福祉課長らがお祝いに訪れました。

平田さんはお花を作るのが好きで、この日も

自分で作ったコサージュを胸に付け、大変お元気な様子。家族に囲まれ、笑顔で感謝の言葉を述べられました。

元気で長生きする秘訣は、「シルバーカーを押して歩くなど、体を動かすこと」だそうです。これからお元気で過ごしてください。



お祝い状を受け取る平田さん(中)

いつもと違う夜の学校

国府小学校で打ち上げ花火

国府小学校（山本元子校長・児童347人）で7月19日、「夜の学校で遊ぼう」が開かれました。4回目を迎える「夜の学校で遊ぼう」が、国府小学校創立100周年記念行事第1弾として、プロの花火師による打ち上げ花火を開催。児童や保護者、地域の皆さん約350人が参加しました。

各教室で、プラネタリウムやパネルシアターなど、趣向を凝らした催しを楽しんだ児童たちは、花火の時間になると校庭に集合。打ち上げ花火や仕掛け花火が始まると、「おー、きれい」と歓声があちらこちらから聞こえ、拍手喝采。参加した皆さんは、それぞれ楽しい夏のひとときを過ごしました。



オカリナ演奏に合わせ、皆さん一緒に合唱し、楽しい時間が流れました

心の交流を図りたい

邑久病院ふれあいまつり

邑久病院で7月15日、患者さんや地域の子どもたちが集い、第2回邑久病院ふれあいまつりが行われました。

邑久病院の職員が、患者さんや地域の皆さんと心の交流を図りたいと企画。職員・OB・ボランティアの皆さんが人形劇や手品、オカリナ演奏、腹話術など

を披露しました。会場の皆さんは、「キラキラ星」など9曲のオカリナ演奏に合わせ、手拍子を打ち、一緒に合唱したり、手遊びしたりして楽しいひとときを過ごしました。参加者の一人は「楽しい時間が過ぎて、よかった」とうれしそうに話していました。